

9月8日 No1741

2025年(令和7年)

週刊 月曜発行

著行人 河村 謙志

平成元年8月22日 第1種郵便物承認

週刊

週刊 循環經濟新聞

JUNKAN KEIZAI The Recycling Economy Times

ア ク ア
ネ ク サ ス

作業負担等を減らす排水処理

G a l i l e o の販売を開始

アクアネックス(東京・新宿、高野富士雄社長、☎03・63380・1840)は、排水処理循環システム「Galileo(ガリレオ)」を開発し、販売を開始した。段ボール製品メーカーの総合紙器(広島県廿日市市)に第一号機の納入が決

まっています。製品製造過程で発生するインクや糊の処理を行う。同システムは、マイクロ・ナノバブルとオゾンを活用することでインクや糊を凝縮した排水を分解し、放流可能な水質まで処理する。従来の排水処理とは異なり、薬剤が不要

で汚泥の発生が少なく、処理水を再利用できる点が特徴となっている。

排水を貯留している原液原水タンクから第1次処理(マイクロ・ナノバブル+オゾン)、第2次処理(マイクロ・ナノバブル+オゾン)、第1次沈殿貯水

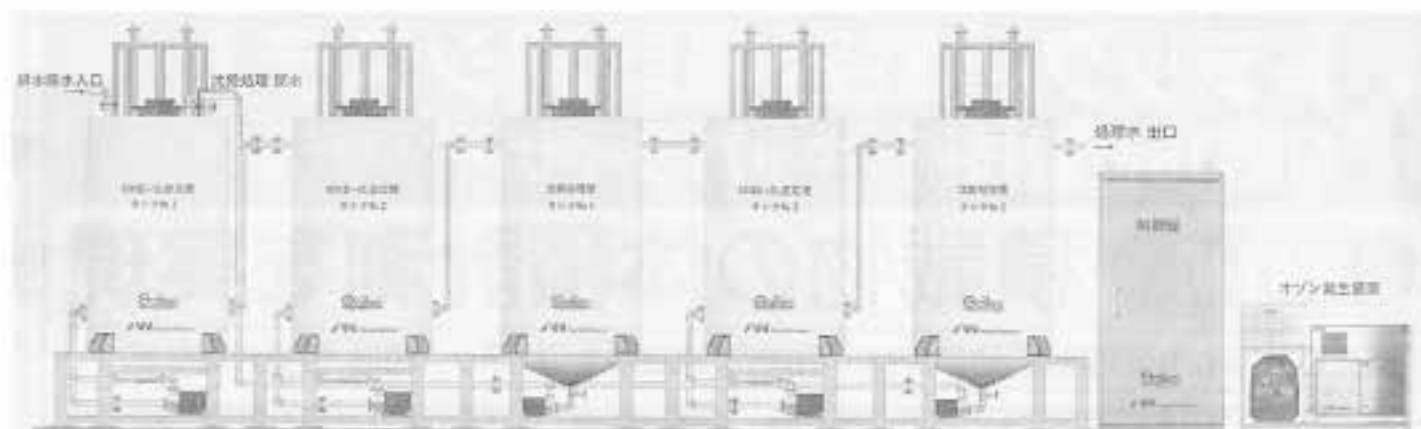
槽、第2次処理（マイクロ・オゾンパブルエオゾン）、第3次沈殿貯水槽を経ることで、処理水を放流または再利用できる水質となる。

第1次沈殿貯水槽や第2次沈殿貯水槽で回収した沈殿水は再度、第1次処理に回して循

環させることで、汚泥の排出を限りなく減らすことができる。

処理水は処理後に▽BOD：処理前640mg/l、処理後10mg/l、処理後10mg/l以下▽COD：処理前1700mg/l、処理後10mg/l、処理後10mg/l以下▽NH₄-N：処理前13mg/l、処理後2.3mg/l、処理後2.3mg/l以下▽S：処理前860mg/l、処理後10mg/l、処理後10mg/l以下といった水質と排水の性質によって処理を調整していくため、さまざまな業種への適用が可能となっている。実際に食品会社や飲料メーカー等からも関心を寄せられていて、一部テスト機の導入も決まっている。現在、国内外で特許を出しているため、将来的には海外向けにも販売していく計画だ。

排水の性質によって処理を調整していくため、さまざまな業種への適用が可能となっている。実際に食品会社や飲料メーカー等からも関心を寄せられていて、一部テスト機の導入も決まっている。現在、国内外で特許を出しているため、将来的には海外向けにも販売していく計画だ。



Galileo イメージ図